



新しい出発

新・マナの家建設工事完成

理事長 山崎 八コネ

皆様の祈りとご支援をいただき、「新しい」マナの家を開所することができました。この事業は、新潟市の「二〇一一年度地域密着型サービス指定候補事業者」の公募に採択されたことによるものです。同時にそれは、私たちが長年描いてきた「マナの家構想」を具現化する「建てる時」の始まりでもありました。

一人よりもふたりがよい。

ここには、三つの機能が統合されています。一つが今回の公募による事業定員九名の認知症のグループホームです。十二年に及ぶ同種の実績を踏まえて、認知症高齢者により質の高いサービスを提供していきたいと思えます。そして、これを機に法人の自主事業である公益事業を整備すること、具体的には地域福祉事業「マナの家」の移転と規模を縮小したことです。宿泊五名から三名にし、事業内容をより強化しました。三つ目の機能としては、地域交流スペース（通称「みんなの家・エクレシア」）の創設が加わりました。おかげさまでそれぞれの役割を担いつつ、四月より全室満室で各事業が展開されています。また、法人事務局も西有明町二

番五号に移転しました。

共に労苦すれば、その報いは良い。

不思議と、新しいマナの家が完成したことで、うまく動き出していることがあります。介護指定事業所では先輩になるからし種の家がマナの家の整備に力をかしてくれました。隔月で全体会議をもち、お互いに各ホームのことがよく見えるようになったことをはじめ、一緒に対処できる組織体制がとれるようになったことです。まさしく聖書の言葉どおり、

「倒れば、ひとりの友が助け起こす」、
「ひとりが攻められれば、
ふたりでこれに対する」

二つの家の存在は、いい意味での質を競い合う仲間であり、働く者にとっても、法人組織においても、頼れるからだの一部です。

また、新しい家は、利用者様にとっても暮らしやすい住環境となつていくようです。九十八歳のSさん（旧マナの家入居者）は、グループホームに移られています。ある日、洗面所の鏡の前でSさんが、誰に言われるでもなく、顔を洗い、コップを持つてうがいをしているではありませんか！その姿を発見したときの喜びは、天にも昇るようで、それだけでもこの家を建てさせてもらえたことを神に感謝しました。同様に、物の配置や高さ等住環境が与える暮らしの影響を再認識しました。

三つよりの糸は切れにくい。

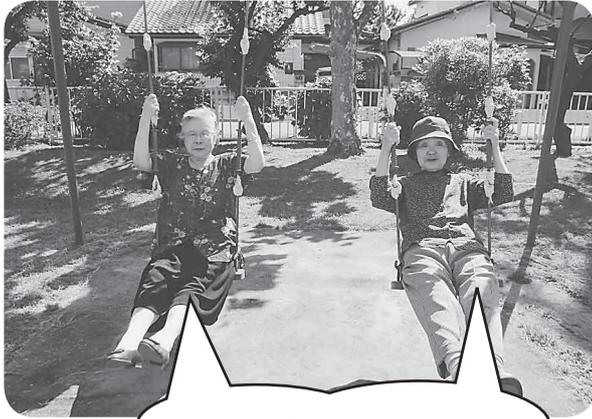
また、みんなの家エクレシアの場所を用意できたことは、地域の人たちがいつでも参加できる居場所が確保できたということです。私たちは法人は微力ながら、「地域の人たちが参加・交流しながら、支え合う地域づくりを進めることに協力する」という目標を持って地域に仕えていきたいと願っています。その一つがイスターより始まった毎日曜日のさんび夕礼拝です。音楽など様々な賜物をもった人たちに自由参加をいただいで、分かち合い、新しいみんなの集いの場となっています。

これからは、法人のよって立つキリストの土台の上に、この新しきマナの家（複合施設）のなかみを「建てる」ことに前進したいと思えます。それは、からし種の家と同様に利用者ひとりひとりの尊厳ある生と死に寄り添いながら、ご家族と一緒に、地域と協働で、かつ、健全な経営をもつて、隣人を愛するという使命に正しく生きていくということです。



新マナの家 完成（全室南向き）

からし種の家の皆さんの
日々の暮らし



久しぶりにブランコに乗りました。
「童心にかえりました」
「今、こうやられているのは
幸せですね」と。

三月十一日の東日本大震災、七月二十九日の県内豪雨など大地を揺るがすような大きな自然災害に、テレビの画面を通して胸を痛めていた利用者の皆様。まるで、自分の身に降りかかった出来事かのように、その苦しみや悲しみを共感しておられました。節電を余儀無くされた日常でも「仕方ないですね、あの戦争の時や戦後の混乱、新潟地震のことを思えば、なんともないことです。」と、たくましくも優しく、この夏を乗り切ってくださいっています。

日常生活の中では、ご本人の希望や体調を考慮しながら、出かけた場所を選んで、ドライブや散歩など、楽しいひと時を過ごされています。また、「願いを叶える」という目的を持ち、ご自身のゆかりの場所や、なつかしい思い出をたどるといふ特別な出かけもスタートしています。日々の家事にも参加していただきながら、からし種の家らしい暮らしをおくっています。これからも利用者みなさまをはじめご家族の方々、職員一人ひとりの力の結束を大切に歩いていけたら...と思います。



「昔とったきねづか笹ダンゴ作り」
「おいしかったよ」とご近所にも大評判
嬉しい言葉をたくさんいただきました。

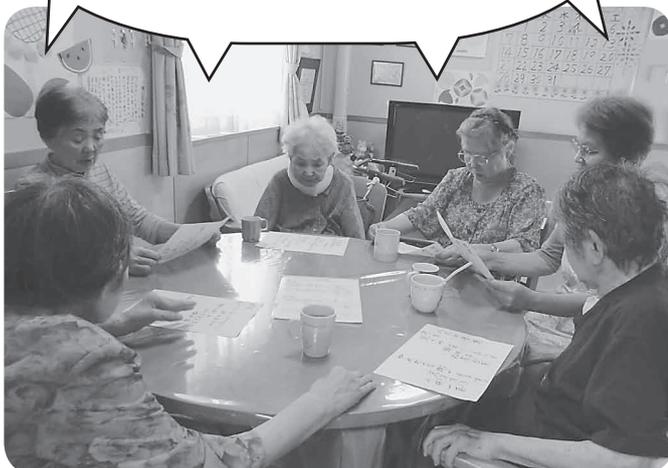


お買物に出かけました。
真剣に品定め中です。
厳しい目が光ります。



「夕飯はまかせて下さい。」
ほとんどの皆さんは、食べ物で
好き嫌いがあまりないのが
自慢です。

ボランティアさんと共に過ごすひととき。
声に出して表現することは大切ですね。
(歌と朗読の会、時には俳句、短歌の会)



はりきって環境整備
きれい好きなお二人です。

川端 智哉
(かわばた ともや)

趣味「旅行・ドライブ」
好きな言葉「自由」・「自然」
四月より、「からし種の家」の管理者を勤めさせて頂いています。実は、からし種に来てから、日は浅いのですが、今では古株のような雰囲気を出しているとか、いないとか・・・
日々の暮らしの中で利用者の皆様の笑顔を見ることが、何より嬉しく、気持ちを引き立たせてくれます。「楽しかった」「美味しかった」。こんな言葉をいただくことが、私へのごほうびです。これからも皆様の安心と安全を第一に、笑顔あふれる暮らしをサポートしていきます。至らない点ばかりですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

山際 ルリ子
(やまぎわ るりこ)

趣味「ウォーキング」
「器(うつわ)」の収集癖あり
好きな言葉「さりげなく・・・」
これまでのからし種の家のご歴史に登場するすべての入居者、ご家族、地域の方々、職員に改めて心から敬意を表します。「ありがとうございます」

野口 昌嗣
(のぐち あきつぐ)

趣味「音楽鑑賞」
「スポーツ観戦」
好きな言葉「健康第一」
不器用で覚えも悪いのですが、利用者みなさんの力に少しでもなれ

からし種 職員紹介



るように精一杯、頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

前澤 梨沙
(まえざわ りさ)

趣味「絵を描く事」「ショッピング」
好きな言葉「日々努力」「笑顔」
毎日利用者みなさんと、楽しく過ごさせて頂いています。
利用者みなさんと関わる時間を、一瞬一瞬大切に、日々努力を忘れないよう努めています。思っています。また、利用者みなさん、お一人お一人が持っている力を存分に発揮できるように、日々の生活の中で手助けできたらと思っています。精一杯頑張っていきたいと思っていますので、宜しくお願ひします。

三川 智子
(みかわ ともこ)

趣味「買い物」「コントラバス演奏」
「友達と音楽を聴きに行くこと」
好きな言葉「継続は力なり」
からし種に勤めて三年目になりました。
介護職員の中では、すでにお局のポストです。お休みの日は東京に行き、友達と遊んで充電しています。これからもよろしくお願ひいたします。

小西 きよみ
(こにし きよみ)

趣味「畑仕事」
好きな言葉「ありがとう」
夏本番、ファイト！自分に言い聞かせています。

佐藤 敏子
(さとう としこ)

趣味「家庭菜園」「釣り」
好きな言葉「一生懸命」
からし種の家にお世話になって三年が過ぎました。利用者様の笑顔に力をもらって頑張っています。
今年も利用者様と一緒に、庭にきゅうりを植えて収穫を楽しみにしています。

渡部 美紀
(わたなべ みき)

趣味「嵐」のコンサートに行くこと。CDを聴くこと
好きな言葉「自分らしさ」
一人暮らしを始めました。社会人としてまだまだな所はありますが、一生懸命頑張りたいと思います。

本田 正子
(ほんだ まさこ)

趣味「写真を撮ること」「日帰りのバス旅行」
好きな言葉「温故知新」「蟹は甲羅に似せて穴を掘る」
マナの家から異動となり、「からし種の家」にお世話になり三年目をむかえました。
介護の職務の奥深さに日々、驚きと責任を痛感しています。利用者様との暮らしの中で、感じることや気持ちを大切に、仲間の職員と共に息の合った支援をめざします。





2011. 5. 11
地域住民7名参加

笹団子づくり

五月十一日に、地域の方や、「西有明福祉の会」の方々合わせて七名の皆様からボランティアとしてご協力を頂き、二百個もの笹団子を利用者の皆さんと力を合わせて作りました。午後からは、午前中にボランティアの方々や利用者の方から一生懸命こねて作って頂いた生地の中にあるこを詰めていきます。「昔よく作ったから」と、慣れた手つきで次々と作っていく利用者のMさんは、生地を作る所から頑張っていました。笹の葉でくるみ、つげのひもで縛った後は、その場で蒸し、出来立ての笹団子を皆さんで頂きました。作る時は真剣な皆さんでしたが、頑張った笹団子を食べて、自然と笑顔がこぼれていました。やっぱり自分たちで作った笹団子は、より一層おいしく感じられますね！

作った笹団子は、ご近所にもおすそわけし、大変喜んで頂きました。

あっという間に200個!!



マナの家では日々利用者の方の希望や季節、天候に合わせて様々な所へ出掛けています。例えば
白根のたこ合戦観戦
映画「はやぶさ」鑑賞
ミスタードーナツ
や喫茶店でのお茶
清水フード・ひらせ
いへの買い物、護国
神社へのお参り・寺
尾公園への花見等により気分転換させています。



日常的なことでは、洗濯の干し物、野菜切りやごますり等の食事作りのお手伝い、料理の盛り付け、食器洗い、食器拭き、リビングのモップ掛けやゴミ出し等、御自分でできることを行って協力しながら、力を貸して頂いています。

わあ～おいしくできた!!



花植え

ある晴れた日に花植えを行いました。ペゴニア、ブルーサルビア、日草、マリーゴールド等といった色とりどりの花が、皆さんの手によって次々と植えられていきました。楽しそうに花の苗を植えておられ、その作業を見学している利用者の方々も、皆笑顔であふれていました。ホームの周りを散歩すると、「かわいいね！綺麗だね！」とIさん。一生懸命に植えた花々は、今では私たちが癒してくれる存在となっています。



敬和学園高校バザー参加

六月に敬和学園高校で、バザーが行われ利用者様と一緒に参加させていただきました。毎日の生活の中で作ってくださる刺し子や編み物、シユシユなどの小物類、またミシンを使われたカバン類など数多くの手作りの作品が並び好評でした。会場では利用者様が自ら「見ていってくださーい」「いかがですか」と声を掛けてくださり多くの方々とお話ししながら楽しい交流の時間を持たせて頂きました。



習字教室

ボランティアの先生の協力により、隔週の土曜日に習字教室が行われています。この時間に合わせて自分の席に着いて硯や筆を用意されお手本を良く見て練習されています。参加者は回数を重ねるごとに上達され「この字は味がありますね、」「今書いた字はもう書けませんね、」



取っというおいたほうがいいですよ」など、アドバイスを頂きながら約一時間、文字を書くことに集中されています。

マナの家 歌の会

「西有明福祉の会」ボランティアの皆さんによる歌の会が毎月1回行われています。歌の前には昔の生活用品(うちわ・下駄)を持ってきて頂いて話ぐ盛り上がったところから楽しく皆さんと懐かしい歌を合唱しています。



「グループホームマナの家」の 今と抱負 ◆◆◆

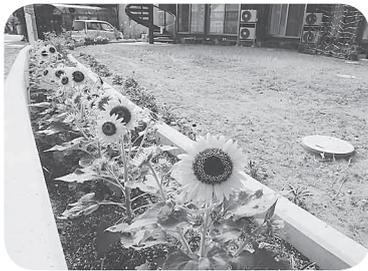
管理者 渡辺 絹代

四月からグループホームマナの家の管理者となりました渡辺絹代です。力不足ですが、入居者の方にも働く職員にとっても居心地のいいホームになるよう頑張っていきたいと思っております、よろしくお願ひします。

グループホームマナの家には九名の方が入居されており、できることはしていただきながら一緒に生活しています。

新しい環境の中で、不安を覚えたり、体調を崩される入居者の方がいらっしゃることもあり、職員も慣れない中で戸惑うことが多くありました。場所、建物、人間関係が新しく始まることの大変さを痛感しながらも、一歩ずつ進んできているのではないかと感じています。何よりも入居されている方々の新しい一面を発見したり、「ありがとね」や「よかった」という言葉を聞くことで、励まされ、力をもらっているように思います。

台所で洗った野菜を切っているお姿、ソファの方から聞こえる歌



声、買い物袋を下げて戻って来られる方、夕食前の晩酌、好きなものを作って誕生日のお祝いなど、徐々にマナの家の日常が浮かぶようになってきました。
始まって四ヶ月と歴史は浅いですが、入居されている方とご家族、地域の皆様、ボランティアの方々と共に「からし種の家」と並ぶもう一つの「家」として築いていきたいと思っております。

運営推進会議 ◆◆◆◆◆

指定地域密着型サービス事業者に義務付けられている「運営推進会議」がグループホームマナの家にも設置され、六月十日に第一回の会議が開かれました。委員は入居者の方、ご家族の方、地域住民の方（民生委員、自治会長）、ボランティアの方、有識者の方、地域包括支援センターの方から構成され、第一回目は七名の方に参加していただきました。

会議は、二ヶ月に一回開催され、運営やサービス提供の方針、日々の活動内容、入居されている方の状況等を報告し、委員の方から意見や要望、助言をいただきます。

今回の会議では、防災訓練の実施方法についての検討や、マナの家の看板が分かりにくいという意見をいただきました。その結果を受け、訓練方法を見直したり、看板の設置をしたりと改善へ役立てることができました。



みなさん、よろしくおねがいします！

新人職員

『三ヶ月を振り返って』

齋藤 美幸

新しい環境や職場に毎日どきどきしながら勤務していますが、あっという間に三ヶ月が過ぎました。まだ自分ができることは少ないので、せめて会話だけでも自然にできるようにと目を見て話を聞くことや、話しかけることを心がけてきました。少しずつではありますが、会話の時間が長くなってきているように感じます。今は出来ないことばかりで迷惑をかけていますが、当たり前のことを当たり前に出来るように取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

『マナの家で働いて』

古俣 奈保子

四月から職員の一人として働かせて頂き、三ヶ月が経ちました。初めは慣れない事ばかりでしたが、利用者の皆さんの生活に触れることで、一人ひとりに合った支援がどれだけ大切か改めて実感することができました。今年の三月に大学を卒業したのですが、実際の現場で働くことで、大学の講義だけでは学べない大切な事を日々感じています。その中で、上手いかないことも多く、毎日反省すべきことがたくさんですが、利用者の方の心に少しでも多く寄り添い、その方の立場に立った支援ができるよう、「笑顔」を大切に頑張っていきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願ひします。

移転しました。

法人の自主事業である小規模多機能型地域福祉事業「マナの家」は、この度移転しました。どこへ？新築「マナの家」の一階部分に。全室南むきです。移ったことで一番うれしい出来事は、離れ離れで暮らしていたご夫婦が一緒に暮らせるようになったということ。ご主人の方はケアハウスで生活され、奥様は、制度外のホームで、通い夫の時を経て五年になりますが、漸く一緒に暮らせる喜びを味わっておられます。

買い物に出かけても、ご主人は「妻のために」とバナナやヨーグルトを買ってお部屋に持参されます。誰かのための買い物は、張合いもあり、楽しいとのこと。夫婦愛に刺激されて職員も「結婚したい」と思わず微笑み、その生活の継続を願って応援しています。



支援の輪 一緒に暮らせるしあわせ

みんなの広場

地域福祉事業 マナの家・みんなの家



献金で購入 特殊浴槽 「みんなの湯」



特殊浴槽ボランティア購入
献金 5月現在 1,816,500円
集まりましたことご報告します。

一人から始まった小さな私たちの社会福祉実践もはや十二年になります。認知症があっても「その人らしく最期まで暮らす」ことを願い、住み慣れた地域で、継続して支える仕組みを模索し続けてきました。力のない私たちはゆっくりですが、皆様のご賛同をいただき、この度、特殊浴槽を「献金」で購入することができました。グループホームでは、家庭風呂が中心です。障害や重度化した場合には、家のお風呂では対応が困難になります。

重度のお年寄りや地域住民の中でも、お困りの人が利用できるように、皆様の「献金」を活かして法人の独自のサービスとして提供していきたいと思えます。施設と地域をつなぐ場となるように、「みんなの湯」と命名しました。

秋には地域の皆様を対象にした「みんなの湯」のお試し会を予定しています。皆様の自立を支援するところの「いい湯の提供」を目指します。

2010年8月～2011年5月まで

◆◆◆◆◆ 新マナの家《複合施設》建設のために ◆◆◆◆◆

(敬称略)

個		人		
1	匿名	10,000,000	36 中 俣 三和子	10,000
2	匿名	3,000,000	37 匿名	3,000
3	匿名	10,000	38 新 保 みゆき	10,000
4	堀川勝愛・嘉代	10,000	39 竹 内 晃	5,000
5	黒崎 浩	5,000	40 青 木 範 雄	200,000
6	松崎 博司	30,000	41 石塚 猛・初子	10,000
7	匿名	10,000	42 山 崎 啓 吉	10,000
8	古川 嘉寿哉	10,000	43 匿名	100,000
9	山田昌人・光子	10,000	44 鈴木 な み	500
10	倉本 武治	200,000	45 匿名	100,000
11	大西 英子	5,000	46 高橋 尚子	3,000
12	野島 廣一郎	10,000	47 匿名	3,000
13	藤 卷 い つ	3,000	48 横 山 キミイ	2,000
14	山岡 清二	5,000	49 星 野 りえ子	20,000
15	貝塚 夕紀代	5,000	50 倉 井 良 子	10,000
16	周 佐 百合子	30,000	51 小淵康而・和代	100,000
17	並 木 浩 一	30,000	52 重 島 高 美	2,000
18	林 淨 子	3,000	53 長谷川 静子	5,000
19	小 杉 健 一	2,000	54 河 村 富 雄	5,000
20	丹 後 源 太 郎	5,000	55 高橋和彦・華枝	10,000
21	久 保 和 子	10,000	56 藤 森 恵 美 子	10,000
22	匿名	10,000	57 鈴木 伸子	3,000
23	古川 久子	3,000	58 児 島 康 夫	10,000
24	角倉泰彦・菊枝	10,000	59 久保田 詠子	3,000
25	横山 豊治	3,000	60 青 木 脩	5,000
26	一色 登久	10,000	61 匿名	50,000
27	坂木 俊雄	5,000	62 宇田川 潔	50,000
28	東 條 節 子	1,000	63 川 上 博 子	10,000
29	松 本 幸 恵	3,000	64 守 下 義 之	30,000
30	匿名	10,000	65 中 島 徳 彦	1,000
31	小 柳 直 江	10,000	66 野 田 文 子	3,000
32	西 山 悦 子	10,000	67 齊 藤 三 恵	1,000
33	榎 本 栄 次	10,000	68 長谷川 悦子	5,000
34	匿名	10,000	69 浦 沢 陽 子	10,000
35	匿名	50,000	合計金額	14,337,500

教会・団体		
1	青山学院初等部	30,000
2	マリヤの家グループ代表 築	10,000
3	浦和別所教会	20,000
4	加藤 齒科 医院	10,000
5	新丸子教会 婦人	3,000
6	(有)西新潟商事	50,000
7	聖ヶ丘教会 壮年会	30,000
8	新丸子教会	5,000
9	東新潟教会	5,000
10	新津教会	5,000
11	日立教会	5,000
12	東中通教会	5,000
13	敬和学園大学キリスト教と教育委員会	5,000
14	村上 教 会	10,000
15	見 附 教 会	5,000
16	新 潟 教 会	10,000
17	日立教会 麦の会	4,000
18	熊 谷 教 会	3,000
19	佐 渡 教 会	3,000
20	長 岡 教 会	5,000
21	聖ヶ丘教会教会学校	100,000
22	高田教会/新井教会	6,000
23	聖ヶ丘教会	150,000
合計金額		479,000

報 告

皆さんのご支援のおかげで
特殊浴槽を購入しました。
(6)面をご参照下さい。

個人 (からし種の家)		
1	伊藤 清治 ②	6,000
2	宇田川 潔	3,000
3	大澤 理尋 ②	6,000
4	山崎 ハコネ②	6,000
5	大越 正一	10,000
6	土橋 敏孝②	21,000
7	小淵 康而 ③	6,000
8	青木 範雄 ②	13,520
9	一柳茂樹・民恵	10,000
10	平原 公子	5,000
11	上田 光正	3,000
12	大岩 治子	5,000
13	長谷川 聖二	10,000
14	川上 博子	3,000

個人 (マナの家)		
1	才川 ミサ ②	23,000
2	松永 堡智	10,000
3	青木 範雄	30,000
4	亀 苔 美智子	20,000
5	匿名	3,000
6	一柳茂樹・民恵	10,000
7	匿名	1,000
合計金額		204,520

教会・団体 (からし種の家)		
1	聖ヶ丘教会婦人会	30,000
2	東中通教会婦人会	5,000
3	聖ヶ丘教会壮年会	30,000
4	新潟信濃町教会	11,820
5	新津教会	5,000
6	東中通教会	5,000
7	新潟教会	10,000
8	日立教会 麦の会	2,000
9	佐渡教会	3,000

教会・団体 (マナの家)		
1	イエス・キリスト栄光教会	5,000
2	新丸子教会婦人会	3,000
3	新丸子教会	3,000
合計金額		112,820



* いつもお支えをありがとうございます。献金・ご寄附をいただく口座 *

①後援会の口座

郵便振替口座 払込取扱票で入金の場合
(同封のもの)

口座番号：00540-7

口座番号：59997

加入者名：社会福祉法人 からし種の会後援会

②法人の口座

第四銀行小針支店 普通預金

口座番号：1300222

名義：社会福祉法人 からし種の会

※所得税控除 当法人が行う社会福祉事業のために②の法人の口座に献金していただくと、所得税法第78条第2項第3号及び法人税法第37条第1項及び第4項に該当し、税金が控除されます。

こちらから発行する領収書が変わりますので、法人に指定寄附をご希望される方は、寄附申込書が必要になりますのでご連絡下さい。

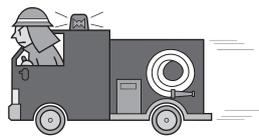
避難訓練を行ないました



7月10日 マナの家 2階の非常階段からの避難風景

「マナの家」では、七月十日(日)、「からし種の家」では七月十八日(月)にそれぞれ午後より、西消防署小針出張所の職員の方々と地域の自治会有志の皆さんのご理解とご協力を得ながら、夜間を想定した避難訓練が実施されました。

グループホームの夜間の体制は、現行の制度では一人の配置になっていきます。現場では一職員の確な判断が要求されます。しかし、一対九の対応は現実的には厳しいものがあります。ハード面では、からし種の家も、マナの家もスプリンクラー及び自動火災報知設備の設置を整備しました。しかしそれとて、充分な対応とは言えません。日頃からの安全管理や火の用心を心がけていくと



「緊急の脱出法の実演」なるほど…と大きなヒントをもらいました。



7月18日 からし種の家自治会役員さんも訓練参加



ともに、地域の皆さまのご理解とご協力なしには、安心した暮らしが継続できないというのがグループホームの現状です。

重度の利用者がいる中で、私たちの課題は大きくあります。今回の避難訓練の反省をもとに、いよいよ改善策を強化していくとともに、地域住民にも安心してもらえる環境整備に努めていきたいと思えます。

ご近所同士の助け合いを最大限に活かしながら、いざという時の備えを法人として、また利用者の方の命と生活を守る職員一同、自覚と責任を持って職務にあたっていききたいと思えます。



編集後記

本号は、「からし種の家」と新しくなった「マナの家」の利用者様の様子や職員紹介を含め、近況報告を合同で載せ、報告することができました。今後より地域に密着した「家づくり」を目指してがんばっていききたいと思えます。 廣井

〈ボランティアさん募集しています〉

「からし種の家」・「マナの家」では、現在数名のボランティアさんが日中活動し活躍して下さっています。ボランティアさんによる新しい風が吹き込まれ、そのアイデアとパワーをお借りして、さらに居心地のよい生活の向上を目指しているところです。利用者さんや職員の喜びと共にボランティアさんの喜びや、やりがいにつながる・・・そんな意義のあるものにしたいと思っています。 いつでもお電話下さい。



TOKIO美容室さんによるカットボランティア

- からし種の家…025-267-6600
ボランティア担当 本田 正子
- マナの家………025-201-7688
ボランティア担当 山田 華代

